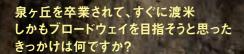


Get One Step Closer 70 My Dream!

世界の夢と希望が踊る ブロードウェイへ挑戦!



元々、最初は大学の舞踊科やダンス科に行こうと思っていました。 オープンキャンパスなどにも行ったりしたのですが、大学で行われて いる内容と自分が勉強したい事とが違っていたので、ものすごく悩み ました。そんな時、母が「NY にダンス学校があるみたいよ。」と、イ ンターネットで見つけたのがきっかけです。私自身、ミュージカルが すごく好きと言う事もあって、両親とも話し合い、 考えた末に Steps を受験したんです。 Steps は シアター系のダンス(主に舞台で踊られるダン スの事です)が強い学校で、バレエとジャズダ ンスを日本でやっていたので、そこに決めまし た。合格の知らせが来た時は、もう、両親や友

steps on broadwayの学校の様子 NYの生活のことをお聞かせ下さい

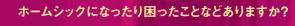
Steps はバレエやジャズ、ヒップホップ、タップ、コンテンポラリー、 全てのダンスが総合的に学べる所です。プロのバレエダンサーやブ ロードウェイのダンサー、世界各国から色んな経歴を持った人達が集 まっています。そこで主に私はジャズダンスを中心に学んでいます。 間近で一流のダンサーが踊っているので、習得する物が多いです。

毎日ダンス漬けです。私が所属しているダンスのカンパニーの舞台 もあります。 パフォーマンスでニュージャージーやワシントン DC にも 行きましたよ。DCはやはり首都だけあってとても綺麗でした。他には、 ダンスのグループを組んで踊ったりもしています。

オーディションを受けて、ミュージカルにも出演しました。オンブロー ドウェイではないですが、ニューヨークの小さな劇場で「王様と私」 に出ました。幸運な事に、ダンスリーダーとしてソロでダンスの場面 がもらえたり、台詞もありました。歌いながら踊り、台詞ももちろん英 語……。すごく緊張しましたし、苦労もありましたが、観に来ていた お客さんに大きな拍手と歓声をもらった時は、やってよかったな、っ て思いましたね。

今現在も、次に出演するミュージカルのお稽古の真っ最中です。こ れもオーディションを受けて、運良く合格しました。歌に苦労していま す。なんせ英語ですので……。

生活の中心がダンスで、休みがたまにしかないのでとても忙しいで すが、幸せです。毎日充実しています。



ホームシックというより、日本シックです(笑)。

日本食はニューヨークでも人気で、お店はたくさんありますが、 やっぱり日本のものと少し違うので、日本の日本食が食べたいです。 困った事と言えば、ニューヨークの地下鉄は24時間走っていてと ても便利ですが、時刻表がなくて、適当に走っている事です。いつ 電車が来るか分からないんです……。

最近、刺激を受けたことは何かありますか?

6月に 20歳の誕生日を迎えたのですが、その日、ジャズのクラス でいつも一緒に受けているブロードウェイのダンサーさんに「Happy birthday Kasumi!!!」と言ってもらえたんです! めちゃくちゃ嬉しかっ たです! その人は、40代で現役ばりばりで踊っていて、かっこよくて、 セクシーで私の憧れです。最近、というよりいつも刺激を受けています。 私もああいう踊りが踊れるようになりたい、といつも思います。

NYで今、最もHOTな場所や食べ物、流行の物は何ですか?

私の中でですが、NY のベーグルは最高においしいです! ふわふ わで、もちもちで、大きくて、腹持ちが良いので踊る前なんかによく 食べますよ! あとタイムズスクエア周辺が今、歩行者天国になって います。観光客がいつもすごいです。

泉ヶ丘校での心に残る思い出はありますか?あるいは、 泉ヶ丘での経験が役に立っていることが何かありますか?

NEWYORK

それはなんといっても、高2の文化祭 [泉ヶ丘祭] です。うちのク ラスはミュージカル「CATS」をやって、最優秀賞を頂きました。朝早 く学校に行き、放課後もずっと練習して、みんなで作り上げたものだっ たのでとても嬉しかったです。本当に歌って踊ったんですよ。実は、 これがきっかけで、ダンスを続ける事を父に許してもらいました。父 はダンスではなくて、普通の進路を歩んで欲しかったみたいです。当 たり前ですが(笑)。今は、父も母も応援してくれています。幸せな 事ですよね。

最後に和田さんの夢をお聞かせ下さい。 (または、同窓生の方々にメッセージを……)

日本と NY で大きな舞台に立つことです。 いつになるかは分かりま せんが、叶えたいと思っています。その為には、諦めず、自分を信じ て毎日踊るしかありません。でも、それでもいいと思っています。やっ ぱり踊るのが好きなんです。

和田 佳澄 Kasumi Wada 普通科 23 期生

帝塚山学院泉ヶ丘中学、高校卒。7歳よりクラシックバレ エ、高校よりジャズダンスを学び、卒業後、単身渡米。steps on broadwayにてダンス全般を学んでいる。ダンスカンパ ニー「10tecomai」メンバー。他には、The Andrean Players Musical 2009 The King and IJICFan Dancer, King Simon役で出演した。現在、ニューヨークを中心に活動中。



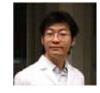
撮影/Hiro Kobayashi (www.hirok.jp)

達と抱き合って喜びましたよ。

年く人 Excellent Human

伝達されるべき 目に見えない世界について

普通科 11期生 西川 竜平 慶応義塾大学 医学部小児外科 特別研究助教 システム生命科学博士



少年は幼い頃から、周りの人間が見ることの出来ない特別な世界を見ることができた。そして、 周囲の人々が自分と同じものを見ることができいということに気付いた時、ある種の絶望を感じることになった。特別な世界を見る特別な能力。

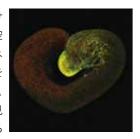
それは、とても些細なことをきっかけに開花するのだった。「なぜ、お風呂場のおもちゃは水に浮かぶの?」2歳になった頃、何気ない幼児の問いに「それはね、お風呂の水を押しのけた分だけ、お風呂の水がおもちゃを押し返すからよ」と、理科教師をしていた母が応じる。帝塚山泉ヶ丘校でも3年教鞭を取ることになった理科教師、西川知子その人である。そして、こう続けた。「押しのけた水の体積の水の重さ分だけ、おもちゃが水に押されるの」「これは、パスカルの原理と呼ばれています」幼い脳にパスカルという刺激が加わる。

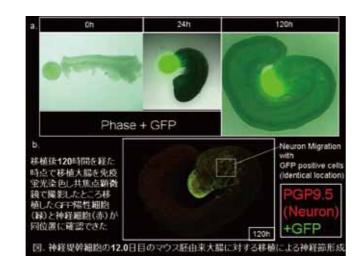
しかし、問題は話がそこで終わらなかったことだ。「頭の上には、空のとても高いところまで透明な空気がたくさんあって、地球が引力でそれを引っ張っています。だからあなたの頭を地球に引っ張られた空気がぐいぐい押していて、押された方も負けないようにそれを押し返しています」……頭が、押される。ぐいぐいと、押される。

「おもちゃを沈めたらおもちゃの周りの水面を押している空気の力を使って、水がおもちゃを押し返すの。地球の引力を使って」……地球の力が、頭を押すところを想像してみる。

『地球―透明な何か―水―押す』

こうして、おもちゃを水面に沈めるだけでその上に広がる50kmに及ぶ透明な空気のブロックが浮かび上がり、先日プラネタリウムで見た青くて巨大な何かがそれを引っ張っているのが見えるようになった。そして少年はいつしか、今は自分にしか見えないこの世界を誰かに伝えなくてはなら





ないのではないかと思うようになった。

青年となった彼は博士号を取って海を渡り、自分が見えている世界を誰かに伝えるために必要なものを学んだ。米国NIH のステムセルセンターで所長をされていた David Barnes 博士の下で幹細胞無血清培養を学び、世界で始めて抗体新薬を開発した Gordon/Denry Sato博士に師事することで 3 年の月日を費やした。日本に帰国してからは世界最高レベルの神経幹細胞研究拠点である慶応義塾大学岡野研究室にて研究を行った。

何かを学ぶために必要なことのほとんどは、帝塚山泉ヶ丘校に居た6年間に身につけたものだ。それは今では私の血となり汗となっている。今はまだ、透明なブロックが輝く美しい光景や巨大な力が何かを引っ張る壮大な情景を伝えることができないが、それでも少しは昔より目に見えないような何かを伝えることができるようになってきた。腸に神経ができず苦しんでいる子供がいたら、その子に神経を生やして、それを見ることができるようにならないだろうか。その答えを少しは見せることができる。マウスに光る神経堤幹細胞を移植し、移植した細胞を可視化しながらそこに存在する神経細胞を見せることはできるようになった(図参照)。それは幼い頃に少年が見た透明な空気の塔には適わないかもしれないが、それでも美しく光り輝いて見えるのだった。(西川 竜平 博士 ポートレイト 2009年4月慶應義塾大学信濃町キャンパスにて)

マイゴルフを 通して



I A P SANPI A P



びもできない人はいい仕事もできない」と常々聞かされてきました。 私の遊びはゴルフです。本格的にゴルフをするようになって20年。 いろんなシーンでのゴルフを楽しんでいます。 いっしょにプレーする 方も老若男女を問わず、職業も色々、また目的も競技、接待、同窓 生や学院の恩師とのコンペと多様です。ゴルフを通してたくさんの人 との出会いがありましたが十人十色のゴルフの楽しみ方があるようです。 賭け事が好きな人、スコアアップに集中する人、お酒が手放せない人、飛距離にこだわる人。 どんなゴルファーとでも 1 日気持ちよく過ごすには自分自身に心のゆとりが必要だと思っています。 私はこのゆとりは二つの経験によるものだと思っています。 1 つ目は 2 年間、ゴルフ部で教わったルールとマナー。 2 つ目はクラブ競技で一打の重みを知ったことです。 この一打は我慢で変わります。 ナイスショットが打てても例えば落下地点によっては自分の思うように転がってくれないことがあります。 悔しさに捕らわれず次の一打をどうするかを考えなくてはいけません。これは我慢の一例です。

自然、同伴競技者、その時の状況、全てを肯定的に受け止めて、

ゴルフが出来る喜びに感謝しながらこれからもプレーしたいと思っています。また、全く同じ気持ちで今後の人生も歩みたいと思います。 機会がありましたらお手合わせよろしくお願いいたします。

輝くKさん

普通科 9期生 村田 明彦 村田商事株式会社

テニスで知り合った K さんは第一線の研究者だ。

ビジネスの話をしようとアポを入れると、「ラケットと着替えを持って来てください」と、ユーモアも併せ持つ。

もちろん仕事中だから、仕事鞄を持って行く。毎回テニスを断るの も悪いので、近頃はアポなしだ。

化学会社からの独立は約 15 年前。以来、土日も関係なく樹脂合成の研究・開発に明け暮れる。おかげで、日にちと曜日がよく噛み合わなくなる。やはりアポを入れるには注意が必要だ。

製品がユーザーに採用されると、60歳くらいのおじさんが文字通り 小躍りして喜ぶ。「楽しそうですね」という私の掛け声に、K さんは、「そ

りゃ楽しいよー。大好きな化学で飯が食えて、2千坪の工場を建設できて、息子の医学部(←私立)の学費が払えて、気に入った刀剣(←将軍様の物らしい)を購入できて、刀剣を入れる別邸まで建つんやから」

先日、新築間もない別邸 の写真が届いた。

自分も 60 歳くらいになった時、別邸は無理として、せめて大好きな車と自転車



を入れておくガレージくらい新築して撮影し、写真にして誰かに送れるといいのだが。

休日も忘れて没頭できる仕事をして社会にも自分にもいい結果を出 している人がいる。

自分もがんばって輝こうと思う。

Seiun Vol.16 | 04

恩師から

『自由と規律』(池田潔) という本があります。初めて手にした高1の時から今日にいたるまで何 度も読み返しました。 パブリックスクール (リース校) での厳格な学校生活が生き生きと描かれており、 そこで養われていく自主独立と自由の精神、登場する学校教師の魅力あふれる風貌が深く印象に残 り、のちの私の「教師像」「学校像」に大きな影響を与えました。着任当時、「21世紀のリーダー」 の育成を標榜していた泉ヶ丘校に、その像を重ね合わせていたのかもしれません。

その年の12月、私は普通科第一期生とともに沖縄に向かいました。「研修旅行」の名が示すとおり、 それは近現代史の中で独特の歴史を経験した沖縄を学ぶことで日本の歴史を見つめなおし、自らの 進むべき道を考えようというよくばった旅行でした。その中でいまも脳裏に鮮やかに記録されている 一場面があります。

やんちゃの多かった一期生の諸君が、うだるような蒸し暑さの中、冷房設備もない粗末な会場で 現地の仲田先生の講義を食い入るように(と私には思えた)聴いていた姿です。わかりやすいわけ でもなく、高校生の関心をひくわけでもない「沖縄の文化と歴史」の講義を、驚くほど熱心に聴い ていた、そこに「この学校は自分たちがつくる。自分たちのひとつひとつの行動が泉ヶ丘校の伝統 になる」という当時の生徒諸君の熱い思いと意気込みを感じとり、強く感動したものです。

その真剣な傾聴の態度が、当時はまだ「沖縄戦」の体験を語ることをためらっておられた仲田先 生の心を動かしてその過酷な体験を語らしめ、さらに翌年からは本校の沖縄研修旅行で語り部とし て、十年以上にわたって沖縄戦の実相を私たちに伝え、フィールドワークの指導をも引き受けてい ただく契機となったと聞いたのはずいぶんのちのことでした。

四半世紀を経て泉ヶ丘校も大きく変貌しましたが、創立当初泉ヶ丘校が掲げた目標と夢、生徒諸 君のチャレンジ精神はいまも脈々と受け継がれていると信じています。かつて、リースの校長は、巣 立っていく生徒へ「社会が諸君を遇する道は千差万別であろうが、諸君の母校が諸君を遇する道は 常に同じく、いずれの諸君をも、歓び迎える校門の広さに差別はない。ただ、罪を犯して逃れんと するもの、罪を他に転じて一人逃れんとするものに対しては、リースの鉄門は永久に開かずの門た ることを承知すべし」と語ったそうです。誇りうる母校をもつことは幸せなことです。そして誇りうる 卒業生をもつことは教員のよろこびです。同窓生の皆さんのご健闘をこころから祈っています。



山本 滋樹 先生 (理科)

薮本 青吾 先生 (国語)

元気ですか。僕は今、30 期生となる中学 1 年の担任をしています。泉ヶ丘開校期の皆さんは、 もう40歳くらいか。さまざまな方面で活躍されているニュースや、学校にきて働きぶりや、母親ぶ り父親ぶりを見せてくれることも、うれしく頼もしく思っています。

自分は成長したかなぁと 25年間を反省します。26の時に未経験者として泉ヶ丘に来た僕は、生 徒だった皆さんにどのように映っていただろう。今、若い同僚の潑剌とした姿を見るにつけ、僕の、 とくに初めの数年間が悔やまれる。知識が無かったこと、偏見があったこと、暴力をふるったこと。もっ と帝塚山の先生らしくして下さい――3年目、一人の生徒にこうはっきり言われたことを覚えている。 3階の窓から、暴力教師! と呼ばれて下から駆け上がったことも。あのまま続けていたら罰が当たっ ただろう。

この学校での仕事が、苦でなくなったのは、周りの先生方のふるまいを見て、徐々に方法を手に 入れたことによるけれども、この学校で暮らすことにきめたのは、君たち(と君たちのお父さん、 お母さん)の励ましと感謝の言葉、それと鋭い問いに応える覚悟と同時だった。

短気でネクラで怠け者であることは変わっていない。最も親しい人がそう言うのだから。でも、こ の学校でのいろんな経験からここ数年、二つのことを大切に思う。人は人とつながりたい。一方が素 直にならないと関係は始まらない。そして関係を続けるには、忘れてはいけない ――誰でもすねたり ぐれたり、頑なになることはあるけれど――あの時はありがとう、素直にそこに戻れよ。感謝というより、 ・・・・・・・・・ 借りがある、と僕には感じられているその感じを大切に思う。もう一つは覚悟ということ。仕事や結婚 を決めるときのもので、「自分を信じて開き直る」くらいの意味としていたが、そうではない。僕は、 事故に遭い、誤解に苦しみもした中で、自分より人を信じること、人に応えることに覚悟を決めること が大切だと思うようになった。あれは事故ではなく必然。誤解されていると思ったことも、実は「見透 かされ」ていたのではないか。変わるべきは自分。それが覚悟ではないか。

いや、五里霧中に皆既日食で暗中模索していますが、ほらね、あの頃よりは少し成長したでしょう。 また会いに来て下さいね。

€同窓会報告》



€普通科1期生 同窓会

去る6月27日(土)19時より、スイスホテル南海大阪「孔雀の間」 で普通科1期生の同窓会を開催しました。

卒業以来、初めての同窓会開催ということもありましたが、卒業生 151 名のうち 48 名の参加と、橘先生、長谷川先生、阪口先生、米田 先生、岡先生、木下先生、木内先生、登先生、松下先生、永田先生 の 10 名もの恩師の先生方に参加して頂きました。

当日は、ほとんどの方が 23 年ぶりの再会でしたが当時の面影がや はり残っていて、すぐに打ち解け当時の皆懐かしい思い出話しで盛り 上がりました。また、在学当時あまり親しく話が出来なかった人達とも、 気軽に打ち解けて話せたことがとても嬉しく、また同窓会の素晴らし さを感じました。

今回の同窓会で私が最も感動したのは、恩師の先生方から我々 1 期生へ暖かいお言葉を頂き、改めて恩師の先生方への感謝の気持ち で一杯になりました。

長い年月が経ち当時の卒業アルバムだけでは、ほとんどのメンバー の住所が判らず苦労をしましたが、同窓会事務局の皆さんにサポート をして頂き本当に助かりました、有難う御座いました。今後は定期的に 開催する予定ですので、今回参加出来なかった方も是非ご参加下さい。

1期生同窓会の報告

開催日時:平成21年6月27日(土) 場 所:スイスホテル南海大阪 孔雀の間 参加費:15,000円 参加者:48名

恩師の出席者

橘先生、長谷川先生、阪口先生、岡先生、 米田先生、木下先生、木内先生、登先生、松下先生、永田先生



開催場所:スイスホテル南海大阪 36F ラウンジ 参加費:5,000円 参加者:39名



€普通科20期生 同窓会 片峯藍子(普通科20期生)

平成 21 年 3 月 26 日 (木)、難波『milk hall』にて普通科 20 期生 の同窓会を開催しました。

高校を卒業して約4年が経ち、普通科約100名、さらに担任の谷先生・ 木内先生、お世話になった錦織先生・竹村先生・磯部先生・中森先生 に特別にご参加いただき、盛大な同窓会を行う事が出来ました。

私達は普通科男女クラス 1 期生として、それぞれにたくさんの思い 出もあり、高校時代の話に花を咲かせることができ、至る所で、笑い

声が絶えませんでした。



さらに、懐かしいという気 持ちと同時に、4年も経ったこ とで、これから社会に出る人、 すでに社会人として働いてい る人、院に進む人、勉強をま だまだ頑張っている人など、 それぞれの高校卒業後の話も

たくさんする事ができ、大変楽しい時を過ごすことが出来ました。

今回、私達の担任でいらっしゃった和田先生が亡くなられたというこ とで、お招き出来なかったことがとても残念だったのですが、私達がま たこうやって集まれたという事は先生もきっと喜んでくれていると思っ ています。

これから、さらに将来に向かって、みんながそれぞれの道に進んでい くと思います! どんな時も私達の原点は帝塚山泉ヶ丘にあるという ことを胸に、頑張っていって欲しいと思います。

今回幹事としてご協力頂いた方、同窓会に来てくれた先生方、普通 科20期生のみんな、ありがとう。

それでは、このように普通科20期生のみんなで会える日を楽しみに しています。



「今年は7月4日に例年通りホテルニューオータニにて 東京同窓会が開催されました。150名近い帝塚山学院 の同窓生が集いホテルの庭園を背景に、七夕をテーマ に楽しいひと時を過ごしました。来賓として木下敏彦ダ 生が招かれ、隣席で思い出話に花を咲かせました。最 後は恒例の学院歌、祝歌の大合唱で盛況のうちに終宴 しました。泉ヶ丘賛歌を歌える同窓生が少ないので、来 年こそは東京在住の同窓生の多数のご参加をお待ち しています。」(泉ヶ丘同窓会会長 山根敬介)



2010年度 帝塚山学院 東京同窓会のご案内 日時/2010年7月10日(十) 東京都千代田区紀尾井町4-

◎来年も同じような時期に開催されます。参加ご希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。№ 072-293-8680



ヤブキ和漢薬局



最初に紹介するの は、大阪・緑橋で祖 父の代から3代続く 漢方薬局を営む10 期生の矢吹真一朗さ んです。

ヤブキ和漢薬局 は、大正12年にお爺

さまが堺で創業され、その後、お父さまが緑橋で大阪店を開店、現在に 至ります。

矢吹さんは京都薬科大で薬剤師の資格を取得後、武田薬品、漢方の 日本堂を経て3年前から大阪店に入社、現在は中心メンバーとして店 の切り盛りをされています。

◎ 漢方薬について

漢方薬のベースとなる生薬には、植 物、動物、鉱物に由来するものがあり、日 本で主に使われるものは約150種類に のぼり、これでほとんどの処方ができるそ うです。

こちらの薬局では、一人ひとりの症状 に合わせてカウンセリング~生薬調合 ~韓薬抽出機と呼ばれる機械で1時間



以上かけ煎じる~エキスを小袋にパックというプロセスにより、その人 に合わせた薬を作ってもらえます。

ストレスやアレルギーといった現代人特有の事情もあるのか、多く の人が訪れ、女性の来店も多いという矢吹さんの目下の悩みは、生薬 の匂いが服や髪につき、電車に乗ると周りの人からジロジロ見られて しまうことだそうです。

同窓生にメッセージ

漢方というととっつきにくいイメージがありますが、丁寧にわ かりやすく説明します。漢方薬を通じても同窓生のみなさんと 交流をはかれたらと思います。いつでもお越し下さい。



ヤブキ和漢薬局

〒537-0022 大阪市東成区中本3-15-23 TEL.06-6972-0260 FAX.06-6974-6196 営業時間:午前9時~午後6時 定休日:日曜・祝日

交通:地下鉄中央線 緑橋駅 3番出口を南へ100m

■ホームページ http://www.yabuki-kanpo.com/

レストラン SANGEN

続いてご紹介するのは、南船場でレストランのオーナーシェフをされ ている、3期生の子田貴之さんです。

SANGENは、1936年にお爺さまが住之江で始められ、現在もお父さま が続けられている洋食屋(源ちゃん)の流れをくむレストランです。

子田さんは甲南大学卒業。学生時代はアイスホッケーに打ち込まれ ていましたが、卒業後、お爺さまが亡くなられたのをきっかけに「店は 絶やせない」との思いから料理の世界へ入ります。

ロイヤルホテルで修行さ れていましたが、子田さんの 義兄がレストラン(源氏)を オープンされた頃から徐々 に店のお手伝いを始められ ました。



そして1997年、念願の店

を長堀にオープン、2004年に南船場に移転され、現在に至ります。

ちなみに、店名のSANGENとは、源ちゃん→源氏と続く3軒(源)目の お店ということにちなんでつけられていいます。

思い出深いエピソードとしては、オープン当初の頃、清遠先生が校長 に就任され、お祝いパーティーをこの店でされたことがあるそうです。

現在でも先生方がプライベートで利用されるそうで、登先生や松下 先生がちょくちょく訪れるという事です。運が良ければ先生に会えるか も!? 因みに同窓会の山根会長も常連客の一人だとか。

メニューは洋食屋の味がベースで、子田さん独自のアレンジを加え

た料理も多数用意しています。

常連客でもある幹事の奥村さんおすすめ の一品は小芋の唐揚げ、メキシカンサラダ、 カツサンドです。一度お試しあれ。



同窓生にメッセージ

先生方や自分をよく知る同級生は良く来店し てくれますが、同窓生が偶然来店されたりる ることがないのが少し寂しいです。 泉ヶ丘の同窓生に向けてメッセージノートを 置きましたので、是非書き込んだり読みに来







〒542-0081 ☆ 大阪市中央区南船場2-3-17 ヴェルデ南船場1階 **PANGEN** TEL&FAX.06-6261-3338

ランチ /午前11時30分~午後3時30 (ラストオーダー午後3時)

ー/午後5時30分~午後11時 (ラストオーダー午後10時)

定休日:每週水曜日•第2火曜日



泉ヶ丘通信

陸上競技部

高校1年1組 長谷川裕菜

今年の陸上部は、新入生がたくさん入部し、中学約10名、高校 約30名に増加しました。それにともない、より一層内容の濃い部 活動が行われています。

日常の活動内容は、まず全員でウォーミングアップ・ストレッチ、 ながし、その後短距離、中・長距離に分かれての本練習です。短距 離は、インターバルトレーニングを中心に練習を行っています。高校 生を中心に少しでもタイムを縮めようと練習に励んでいます。中・長 距離は、1500mを走ったり、時には陶器山へ行き、クロスカントリー のコースを走ったりと、毎日自分自身と戦いながら頑張っています。

陸上部の魅力は、中学 1 年生から高校 2 年生まで一緒に活動し ているということです。それによって、先輩や後輩と幅広く関わるこ とができ、よい人間関係を築くことができます。また、卒業生の先 輩方が顔を出してくださることもあり、さまざまな話を聞くことによっ て、陸上に限らず勉強面でもやる気をいただいています。

6月14日に行われた堺市種目別大会では、高校男子100mで決 勝に進出するという結果を出すことができました。他の部員もそれに 続くべく、一生懸命練習に励んでいますので、応援よろしくお願い致



自然科学部

高校1年1組 中野美紗子

自然科学部は3年前に再開しました。私は中学1年生からこのク ラブに入っているので、今年で 4 年目になります。自然科学部の主 な活動は、植物の顕微鏡による観察や動物の解剖、また化学実験 などもあります。

動物の解剖では、豚の目の中の構造をリアルに感じとり、フナの 内臓がどのようになっているかを知ることができました。

私が一番印象に残っている実験は、花火を作ったことです。炎色 反応を利用して、色のつく線香花火を作りました。互いに助け合っ て完成したときには、部員は大きな達成感を持ちました。

また、当クラブでは文化祭(泉ヶ丘祭)に力を入れています。以 前には校内の葉や花を調べて学校の植物マップを作りました。図 鑑を手がかりにして調べることは思っていたよりも難航しました。そ して校外の植物園に行ってやっと完成させました。

自然科学部は月に1回と活動頻度は少ないですが、部員が協力 しあい実験を通して様々な知識を得れる楽しいクラブです。







皆さん、こんにちは。私は、高校卒業時から、将来泉ヶ丘校の教員になりたいと考えていましたが、 運良く希望がかない、今年で14年目になります。

教員になりたての頃は、教員としての自覚が足りず、お世話になった先生方に、重ねて迷惑をおかけ することもありました。うまくいかないことや大変なこともありましたが、楽しい毎日を生徒たちと送ってき ました。生徒の成長を実感するときは教員として本当に嬉しいし、この仕事を誇りに思う瞬間でもあります。 今年度は、4月から中学1年の担任として新入生と共に慌しい日々を過ごしています。

今までは、少し歳の離れた後輩を見ているような気持ちで接することも多く、いろんなことを生徒と一 緒に頑張ってきたつもりでしたが、さすがに今年は歳の差を感じずにはいられません。まだまだ、若い つもりでいたのですが、生徒の勢いに押されつぱなしの毎日です。それでも、自分の中学時代と今の生 徒とを重ね合わせて見てしまうことも多く、私自身の経験談が生徒たちの中学生活に少しでも役に立て ばと思っています。

最近は入試説明会や学校見学会、体験入学などでお子さん連れの先輩方や同級生とお会いすること が増えました。在校生の中にも先輩方のご子弟が何人もいらっしゃいます。母校の教員として大変嬉し く思っています。今後も多くの卒業生の方に自分の御家族も泉ヶ丘校に通わせたいと思っていただける ように、初心を忘れず、努力していきたいと思います。

泉ヶ丘中学校高等学校入試課より

平成22年度入試のお知らせ

【入試関連行事の日程】

※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

中学入試関連	入試説明会	10月 3日(土) 14:00~	児童・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	プレテスト	11月 3日(火・祝) 8:20~	小学6年生対象で、事前の予約が必要です。 同時に、保護者対象の入試説明会も開きます。
	プレテスト 個別懇談会	11 月 14 日(土) 午後	懇談の予約は、プレテストの後に受け付けます。
高校入試関連	高校体験入学	10月24日(土) 13:30~	中学3年生対象で、事前の予約が必要です。
	入試説明会	11月 7日(土) 14:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。
	入試説明会	12月 5日(土) 14:00~	生徒・保護者対象の説明会です(予約不要)。



撮影:長谷波 淳弘(普通科 10期生

【中学校入試について】

募集人数·日程

区分 日程 定 員	1次入試 1月16日(土)	2次入試 1月17日(日)	後期入試 1月19日(火)
医 進(約40名) 特進 A (約80名) 特進 B (約40名)	約110名	約40名	約 10 名 (特進Bの募集なし)

● 専願・併願制

専願は、泉ヶ丘校を第一志望とし、合格した場合は入学していただくことを条件とします。

特待生・特奨生制度

特待生(定員5名) 入学金の全額、年間授業料の全額を免除 特奨生(定員5名) 入学金の全額、年間授業料の半額を免除

【高校入試について】 ■ 募集人数・日程

区分 日程 定 員	1次入試 2月10日(水) 11日(木·祝)	1.5次入試 2 月 14 日(日)	帰国生入試 1月19日(火)
普通科(理数S) 普通科(理数) 国際科	約80名	若干名	約5名

●特待生・特奨生制度

特待生(定員6名) 入学金の全額、年間授業料の全額を免除 特奨生(定員3名) 入学金の全額、年間授業料の半額を免除



学校案内や募集要項などの資料の請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校入試課までお願い致します。連絡先は下記の通りです。

入試課 TEL.072-293-1416 FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp

コチラ! 上のQRコードから アクセスして下さい

同窓会室より

平成 20 年度 会計報告

収入の部(20年度決算)

■ 経常会計(運営費) 前年度繰越金 24.584.074 4,660,000 48,838 雑収λ

29,292,912

支出の部(20年度決算	Ĭ)		
連絡協議会分担金	158,600	活動費	156,936
贈答費	568,657	人件費	1,425,675
謝礼費	16,365	備品消耗品費	51,041
通信•慶弔費	200,913	学校協力金	200,000
郵便費	363,435	雑費	5,718
東京同窓会関連費	40,000	広報費(WEB制作)	0
会誌費	586,740		
卒業アルバム費	0	合計	3,774,080



普通科20期生 原 千晶さん 和田吉剛先生

心よりご冥福をお祈り致します。

住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局まで

住 所 〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2番1号 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局 TEL&FAX.072-293-8680

E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp HP http://www.tezuka-i-h.jp/dousoukai/

Seiun Vol.16 | 10 Seiun Vol.16 | 11

